

Hara Yutaka

原 裕

日本建設技術 社長



KYUSHU
OKINAWA
TOP
FILE

2020

九州・沖縄を担うトップ群像

MEMO

- 1949年2月19日生まれ
- 広島市出身
- 佐賀大大学院工学系研究科修士
大学院在学中に工学博士号を取得。佐大理工学部助手を務めた後、75年日本建設技術入社。常務、専務を経て2001年から現職。ミラクルソル協会を設立し、理事長を務め、研修会を活発に開催している。最近ではプレゼンで東京をはじめ、全国を飛び回る。ウォーキングで健康管理。

「気候変動に合わせた商品や工法を」



ガラス廃材を再資源化した多目的環境材料「ミラクルソル」は用途が多岐にわたる。多孔質で吸水や保水に優れた材料は、水質浄化やFWG透保水性舗装、法面緑化、屋上緑化、非吸水の材料は軽量盛土として使用している。最近では水産養殖用過材として注目され、海外には「クリスタルバイオ」という商標で輸出している。2019年

にはFWG透保水性舗装が九州地方発明表彰で佐賀県発明協会会長賞を受賞、路面温度を約17度下げる効果を情報発信したい。

近年は毎年のように大規模災害が起きている。19年8月に豪雨によって浸水や地滑りが起きた。斜面工事を手がける当社にとって斜面防災は大きなテーマだ。

斜面工事で施工される「アンカ

一工法」の中には防錆処理が施されず、地下水で腐食するケースがある。当社は腐食を防ぐ「引っぱり型SHS永久アンカー」を用いて地すべり防止、斜面防災に貢献している。

自然環境などの深刻化が予想されるので、環境変化にマッチした工法を開発することで、社会に貢献する企業であり続けたい。